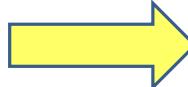


I 埼玉県の人口の状況と将来展望 (人口ビジョン)

- 埼玉県の人口の現状と2060年を見据えた人口の構造的な変化を示したもので、平成28年3月に現行戦略と一体的に策定
- 第2期に向けた国の考え方を踏まえ、統計データの時点修正等を実施

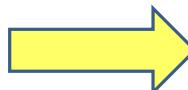
[第2期に向けた国の考え方]
 ✓ 国の人口ビジョンについては、現在の人口等の見通しが第1期の当初時点における推計と大きく離れていないため、時点修正など必要な検討を行う。

[時点修正の内容]
 ✓ 統計データの時点修正 例) 国勢調査H22→H27、人口動態統計H26→H29
 ✓ 統計データの時点修正に伴う記述の修正 例) 人口増地域 7地域→5地域、超高齢社会に入っている地域 6地域→全地域、総人口のピーク H27頃→R2頃

 **人口ビジョンを踏まえた本県の地方創生の基本的課題は現行戦略と同一**

II 現行戦略の評価

基本的課題	基本目標	基本指標	目標値に対する到達度*
①生産年齢人口の減少への対応	1 県内における安定した雇用を創出する	就業率	105.4%
		女性就業率(30~39歳)の向上	109.2%
		経営革新等による付加価値創出額	103.5%
②社会増の適切な維持	2 県内への新しいひとの流れをつくる	人口の社会増の維持	114.3%
		0歳~14歳の転入超過数の維持	69.7%
③自然減・少子化への対応	3 県民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	合計特殊出生率の向上	95.0%
④異次元の高齢化への対応	4 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る	健康寿命(男性、女性)	101.2%(男性) 101.5%(女性)
		要介護・要支援認定率	109.5%

 **概ね順調に進捗**

※令和元年9月現在

Ⅲ 第2期戦略策定の考え方

① 計画期間は令和2～6年度(5年間)

② 現行戦略を基本的に踏襲する。

○ 人口ビジョンと一体的に策定

○ 基本的課題に対応した4つの基本目標は維持

○ 基本指標及びKPIも維持し、令和6年度に向けた目標値を設定(ただし、取組が終了した3指標は削除)

- ＜削除するKPI＞
- ・ラグビーワールドカップと東京オリンピック・パラリンピック前年に開催されるテストイベントの観客数
 - ・子育て世代包括支援センターを整備する市町村数
 - ・医療と介護の連携拠点(在宅医療連携拠点)の整備数

○ 統計データ、文章・取組を時点修正

- 統計データの時点修正 (例) 国勢調査 H22→H27
- 文章の時点修正 (例) 国の第2期戦略に関する記述を追加
- 取組の時点修正 (例) 子育て世代包括支援センター(埼玉版ネウボラ)の整備促進

⇒子育て世代包括支援センター(埼玉版ネウボラ)による妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援

○ 終了した取組及び「主要な取組」は削除

- ＜削除する取組＞
- ・地域医療構想の早期策定

第2期埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について(案) ③

Ⅲ 第2期戦略策定の考え方 (つづき)

③ 有識者会議での御意見や国戦略を踏まえ、取組等を追加する。

有識者会議での御意見 (趣旨)	国の追加取組等	第2期県戦略での対応方針
SDGsに関する取組の 必要性	【横断的な目標】 新しい時代の流れを力にする ～地方創生SDGsの実現など持続 可能なまちづくり～	<p>「2 まち・ひと・しごと創生に向けた考え方」に「(6)新しい時代の流れへの対応」の項を追加(P.31)</p> <p>(6) 新しい時代の流れへの対応 様々な分野においてAI、IoT、ロボット、自動運転などSociety5.0の実現に向けた先進技術を取り入れ、社会課題の解決と生産性・利便性の向上による経済的発展等を図っていく。これにより地域の魅力を高め、人を呼ぶ好循環を生み出していく。</p> <p>持続可能な開発目標(SDGs)は、世界全体の経済、社会及び環境の三側面における持続可能な開発を総合的取組として推進するものである。17の目標を追求することは、地域における諸課題の解決に貢献し、地域の持続可能な開発、すなわち地方創生を推進することにつながる。 この戦略では、SDGsの「誰一人取り残さない」という理念を共有し、戦略を推進することにより、持続可能な社会の実現を目指していく。</p>
Society5.0(AI、ロボット 等の技術)の活用	【横断的な目標】 新しい時代の流れを力にする ～地域におけるSociety5.0の推進～	<p>基本目標1の施策「次世代産業・先端産業の振興、農林業の振興」に取組を追加(P.39～40)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業大学校跡地等を活用した先端産業等の集積促進 ・ICTなど新たな技術の農林業分野への普及拡大
地元で愛着を持つ人材 の育成	【取組】 地方創生を担う人材の育成	<p>基本目標2の施策「教育の充実と地域連携の推進」に取組を追加(P.44)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の推進 ・コミュニティ・スクール設置の推進 ・教育の活性化・特色化を図る魅力ある県立高校づくりの推進 ・企業やNPOなどの地域と連携・協働した教育の推進
関係人口の活用	【取組】 「関係人口」の創出・拡大 地域おこし協力隊の拡充	<p>基本目標2の施策「移住の促進」に取組を追加(P.45)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口の創出・拡大の取組の支援 ・地域おこし協力隊を活用する市町村の支援
—	【取組】 スポーツ・健康まちづくり	<p>基本目標4の施策「生涯を通じた健康の確保」に取組を追加(P.51)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供から高齢者まで誰もが気軽にスポーツに親しめる機会と場の確保
外国人材の活用	【取組】 外国人等が共生する地域づくり	<p>基本目標4の施策「共助社会づくりと地域連携の推進」に取組を追加(P.52)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人住民の地域活動の参加促進 ・外国人の日本語学習及び日本文化理解の促進